

平成21年度当初予算 重点的な取組別概要
< 重点事業 >

くらし5：安心して子どもを産み育てられる子育て環境の整備（担当部：健康福祉部こども局）

< 重点事業の目標 >

保育ニーズが多様化する中、全国的に見て実施率が低位にある特別保育および放課後児童対策について、市町の取組の拡充に向けた支援を行うとともに、地域のニーズにおける多様な子育て支援の取組を支援します。

また、子どもを産み育てることを望む人たちの希望ができるだけ実現するように、子育てにかかる経済的負担の軽減策や不妊対策を充実するなど、きめ細かな取組を行います。

< 構成事業（担当部） >

- （1）放課後児童対策事業（健康福祉部こども局）
- （2）放課後子ども教室推進事業（健康福祉部こども局）
- （3）次世代育成支援特別保育推進事業（健康福祉部こども局）
- （4）ファミリー・サポート・センター設置促進事業（健康福祉部こども局）
- （5）3人目みえ応援プログラム事業（健康福祉部こども局）
- （6）不妊相談・治療支援事業（健康福祉部こども局）

< 重点事業の事業費 >

（単位：千円）

		H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
策定時の見込額	1	793,591	868,000	942,000	978,000
予算額等	2	630,234	767,028	868,484	

1 第二次戦略計画策定時における計画記載額

2 H19年度は決算額、H20年度は予算現額、H21年度は予算要求額

< 重点事業の数値目標 >

目標項目		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
県内における各種の保育（預かり）サービス事業実施率	目標値	-	62%	66%	70%	75%
	実績値	57%	62%			

夕刻以降の預かり（延長保育、放課後児童クラブ等）、休日・一時預かり（休日・一時保育、ファミリー・サポート・センター）、病児・病後児の預かり（病児・病後児保育）の市町における事業実施率

< 構成事業の目標 >

目標項目		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
(1)放課後児童クラブに登録する児童数	目標値	-	7,704 人	8,481 人	9,600 人	10,075 人
	実績値	7,261 人	8,143 人			
(2)放課後子ども教室の参加人数	目標値	-	1,128 人	1,608 人	2,088 人	2,568 人
	実績値	-	1,260 人			

(3)延長保育、一次保育、休日保育、病児・病後児保育実施箇所数(特別保育実施箇所数)	目標値	-	263 箇所	291 箇所	319 箇所	346 箇所
	実績値	230 箇所	256 箇所			
(4)ファミリー・サポート・センターの利用件数	目標値	-	19,200 件	21,500 件	21,700 件	21,900 件
	実績値	19,014 件	21,238 件			
(5)3人目みえ応援プログラム事業	目標値	-	302 人	317 人	332 人	348 人
	実績値	-	5 人			
(6)不妊相談・治療支援事業	目標値	-	150 件	160 件	165 件	170 件
	実績値	147 件	158 件			

<進捗状況(現状と課題)>

- ・ 放課後子どもプランにより平成 20 年度当初の放課後児童クラブは 229 箇所、放課後子ども教室は 40 箇所となっています。今後はさらに、ニーズや子どもたちの生活実態など地域の実情に応じた取組を進める必要があります。
- ・ 多様な保育ニーズに対応するため、延長保育、一時保育、病児・病後児保育等の支援を行っており、この 2 年間で延長保育は 127 箇所から 161 箇所、一時保育は 44 箇所から 71 箇所と増加していますが、さらに拡充していくためには、市町との連携のもと、支援を継続していく必要があります。
- ・ 3人目みえ応援プログラム事業は、各市町へ取組の促進を行ってきましたが、実施は 4 市にとどまっており、これ以上の拡大は見込めない状況にあります。
- ・ 子どもを生み育てることに夢や喜びが感じられるよう経済的負担の軽減策等に取り組む必要があります。

<平成 21 年度の取組方向>

放課後児童対策については、地域におけるニーズなど、地域の実情に応じて放課後児童クラブおよび放課後子ども教室が設置・運営されるよう市町を支援します。

延長保育や一時保育については、保育ニーズを踏まえ引き続き市町と連携し取組を進めます。また、病児・病後児保育についても、関係機関との十分な連携のもと、市町と連携し推進します。

3人以上の子どもを持つ家庭の負担軽減に引き続き支援するとともに、保育所と地域が連携した、とぎれない子育て支援のしくみづくりに取り組んでいきます。

不妊にかかる相談支援や治療費の負担軽減に引き続き取り組んでいきます。

<主な事業>

放課後児童対策事業費補助金【基本事業名：33201 保育・放課後児童対策等の充実】(事業(1))

予算額：(20) 442,239千円 (21) 533,560千円

事業概要： 保護者が就労等により昼間家庭にいない、主に小学校低学年児童に対し、放課後の適切な遊びや生活の場を提供する放課後児童クラブの設置、運営を支援します。

放課後子ども教室推進事業【基本事業名：33201 保育・放課後児童対策等の充実】(事業(2))

予算額：(20) 50,377千円 (21) 46,193千円

事業概要： 放課後や週末等に地域住民の参画を得て、スポーツ・文化活動等の体験活動、地域住民との交流活動や学習活動等の取組を推進します。

次世代育成支援特別保育推進事業補助金【基本事業名：33201 保育・放課後児童対策等の充実】

予算額：(20) 114,516千円 (21) 135,284千円

事業概要： 次世代育成支援行動計画の県目標の達成と市町の計画推進の支援を行うため、市町が実施する特別保育に対する取組の支援を行います。

(新) 地域子育て支援エリアづくりモデル事業

【基本事業名：33201 保育・放課後児童対策等の充実】

予算額：(20) - 千円 (21) 2,129千円

事業概要： 子育て支援拠点である保育所と子育てに関わる関係機関が連携して、出産前から就学時までのとぎれない子育て支援サービス提供のしくみづくりをモデル的に取り組むとともに、保育所を支える保育士の資質・専門性を高めるための研修を実施します。

3人目みえ応援プログラム事業【基本事業名：33201 保育・放課後児童対策等の推進】

(事業(5))

予算額：(20) 8,744千円 (21) 3,053千円

事業概要： 多子世帯の0,1,2歳児が延長保育等の特別保育サービスを利用した場合に、その利用料を軽減することにより、子育て家庭の負担軽減をはかります。

不妊相談・治療支援事業【基本事業名：33203 母子保健対策の推進】(事業(6))

予算額：(20) 116,525千円 (21) 142,424千円

事業概要： 不妊に関する悩みに対応するため、電話相談を実施するとともに、特定不妊治療(体外受精および顕微授精)費用の一部助成を行い、経済的負担の軽減をはかります。